

## 共産党議員団 市民要求実現に全力

### ことバス路線変更

#### ウェルネスプラザ偏重の 路線変更で不便の声

プラザ開館・ことバス路線変更1か月、バス路線変更で「駅への直通便がなくなり利用できなくなった」「回数券が使えなくなった」「ことバスが出来て取手駅～グリスポ経由～戸頭行きのバス便が減少、今度はことバス路線変更で、医師会病院、グリスポ行が不便に」「プラザの利用に変えたが、駐車場が高すぎて、やっぱりグリスポに戻りました。」などの苦情が寄せられています。プラザ中心のことバス運行に、ことバス利用者も市内の医療機関、公共・公的施設もそのあおりを受けており、施設運営側からも苦情と改善のこえが上がっています。日本共産党は、運行ルートの見直し改善、使えなくなった回数券の払い戻しは無条件に行うことを求めています。

## 1000人超え、大盛況 九条の会 茨城県連絡会設立記念の集い



11月1日、“連絡会設立記念のつどい”が、つくば市内で会場いっぱいの参加でおこなわれました。記念講演では「戦争法廃止の政府づくりをどう進めるか」などについて、小林節元慶大教授、二見伸明元公明党副委員長が講演。

つづいて、シールズの代表メンバーや高校生・大学生の若者と講演者2人のトーク集会。シールズ代表の「社会が変わるという期待感を、世論はどうなれば持つようになるか」の問に、小林節さんは「無党派の人が、“今回は選挙に行かないわけにはいかない”という状況を作ることが大事。いたるところで、安倍って怖いよね。日本共産党はヤッパリ、筋が通っているね。野党協力をよびかけるなんて！。“民主党もモジモジしてないで、野党はお互い協力しようって言えばいいのに・・・”などの会話をあちこちですること」と応答。

「楽しく、ためになった！」集いとなりました。

### 関鉄交渉

#### 江戸川学園線一部変更を関鉄に要望

さきに実施した市民アンケートにより西1丁目中央タウンの住民の方から要望のあったバス路線の1部変更について、上野たかし県議、小池悦子・鈴木潔市議は関東鉄道に要望書を提出。関鉄側からは、営業課長はじめ3名が対応しました。申し入れの内容は、中央タウン内通行のバス道路が経年劣化により痛み、その影響で道路沿いの家が地震なみのゆれを感じその対策が始まったが、改修後の維持と振動軽減のために、朝夕の臨時便（スクール）だけを住宅地を通らず、ふれあい道路を直進して直接江戸川学園校門前に行くよう変更してもらいたい。というものです。関鉄と江戸川学園との協議も必要ではないかと提案しました。

### 戸頭東保育園

#### 民間への再移管でなく公立保育所に

市がH24年無償で払い下げた、私立戸頭保育園は、経理の不正流用や児童虐待など一連の不祥事で、来年3月で移管替えの予定です。それに伴い、市は来年4月から運営する法人の公募をおこないましたが、締め切りまでの応募は1法人のみ。市は10月26日に、第1回 経営法人選定委員会（10人）を開催。学識経験者委員からの「なぜ移管替えの事態となったのか」との質問には、市側のだれも回答せず。応募した1法人が「適当ではない」とされた場合は「来年4月からの開園に向け、市が責任を持って対処する」と市はいいますが…。戸頭東保育園問題の解明や今後の保育のあり方を、真剣に検討もせずにした市の責任が問われます。日本共産党は「子どもたち・保護者・市民の思いに応え、同保育園を市立に戻すよう」重ねて求めます。

### マイナンバー

#### 通知カード発送始まったけれど

自動交付機による住民票にマイナンバー誤記載のトラブルが発生した取手市。11月の「広報とりで」では「お詫び」を一言のべたあと、続いてマイナンバー「通知カード」の発送が始まったことを記載。セキュリティについてどう対策を図ったかの記載はありません。「本当に必要があるのか、安心なのか。」これが市民の知りたいことです。

国民・市民の不安が高まる中、「マイナンバーの関連事業を政府の検討会議のメンバーだった企業が独占的に受注している」ことが明らかになりました。会議メンバー9社が発注額862億円の9割、772億円を独占しています。国や企業のためのもので、国民にとって「百害あって一利なし」のマイナンバー制度の廃止を共産党は引き続き求めていきます。

### かたらいの郷

#### 徹底した衛生管理を

市内の多目的施設内の浴場で、疥癬（かいせん）が発症し、利用者への感染が広がっていると心配されています。利用者から共産党への同施設の対策が不十分との批判や要望が寄せられています。

党市議団は、竜ヶ崎保健所へ適切な指導を要請。市に対し①徹底した衛生・施設管理等の感染拡大の防止。②再発防止対策、③打開策が確立するまで同施設の運営休止を検討することなどを再度申し入れました。申し入れの3日後市は、疥癬の患者および疑いのある人は、23名（10月30日現）と公表し、拡大防止のため同施設の浴場のある二階を11月5日から12月31日まで閉鎖するとししました。



# 党議員団 国へ来年度予算要望



上野たかし県議



加増みつ子市議



遠山ちえ子市議



鈴木きよし市議



せきど勇市議



小池えつ子市議

県内の党議員団が毎年行っている国・県への予算要望。今年の国交渉は11月19日です。要望項目は、毎年市党が実施するアンケートや日頃の諸活動の中で寄せられた声をもとにしたもの。国・各省庁へは32、県へは31項目です。福祉、教育、災害対策など多岐に及びます。国への要望の一部をご紹介します。

○JR 常磐線取手駅は、いまだバリアフリー未整備駅。国は取手駅構内にエレベーター・エスカレーターの早期設置をJRに指導すること。

○市の水害対策にとって、利根川増水時の内水排除が課題。利根川、小貝川の排水樋管にポンプ場がない樋管が多く、中でも、市内東部の雨水排水が集中する長町排水樋管のポンプ場設置は切実な要望。排水機場の設置・雨水幹線事業へ国の補助金を拡充すること。

○台宿雇用促進住宅を公共住宅として存続させること。

○教育の無償化拡大。貸与奨学金は無利子にすること。給付型奨学金制度を創設すること。

## 下水道議会

# 排水機能の抜本的強化を

加増みつ子下水道議員

10月30日開かれた下水道議会で、加増みつ子議員は、長町排水樋管（井野排水区）の排水機能の抜本的強化について求めました。

今回の豪雨によって常総市で多大な被害が出ましたが、取手市でも子育て支援センターの床上浸水や各地で床下浸水が起きました。長町樋管は内水排除ができず、大雨のたびスーパール周辺の冠水を繰り返して、地域住民への影響は深刻

です。内水排除は、委託業者が移動式のポンプで排水を行っています。相野谷川にある排水機場の1/40の能力です。

組合は「市民の安全を考えると排水機能強化は必要、事業化に向け国・県・市と検討していく」と答えました。日本共産党議員団は、先に国・県へ「長町樋管の排水機能強化」を求めてきました。

## 戦争法の廃止を求める統一署名

# 全国2000万人署名がスタート

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動（全国）実行委員会は、国民が総がかりで戦争法の廃止を求める統一署名に取り組もうと各団体に呼び掛け、11月から全国各地で共同して署名への取り組みがスタートしました。

共同呼びかけ団体は、戦争させない1000人の会、さよなら原発1000万人アクション、シールズ、とめよう！辺野古埋め立て国会包囲実行委員

会、安保関連法に反対するママの会など29団体。取手での取り組みもすでに始まっています。



日本共産党は、2000万人目標の実現にみなさんと力を合わせ全力で取り組みます。



11月3日、「アベ政治を許さない」全国一斉スタンディング 取手市内で3ヶ所

「戦争法廃止の国民連合政府」の提案をテーマに

## 日本記者クラブで 志位委員長が講演

10月27日、日本共産党の志位委員長は、日本記者クラブで、国民連合政府の提案について講演。講演後、会場から寄せられた質問、「10月の宮城県議選で日本共産党が4から8議席に増えたこと」について答えました。

志位委員長は、①安倍政権の暴走に対する怒りが深く、「争点にならない」といわれた「国政」の問題が正に大争点になった。②日本共産党の躍進は勝手連的な支援があちこちで起こり、保守や無党派の方々が自発的に応援していた。これらは、安倍政権への深い怒り、「政治を変えたい」というところから起こっているものと思う。「国民大義」の下での野党の選挙協力、野党共闘が大事ということが今回の宮城選挙戦からも重要な教訓となった。

## 日本共産党演説会



市田忠義

日本共産党取手市議

もお話します。



小林きょう子

12月12日(土)  
午後1時30分開場  
2時開会  
取手市民会館  
大ホール

## 戦争法を廃止する政府へ、野党は協力を

各紙の世論調査で…  
「野党は選挙協力すべき」  
「毎日新聞」37%  
「読売新聞」41%  
「朝日新聞」48%

野党は共闘を  
すすめてほしい！  
その展望は？

戦争法は  
ゼッタイに  
許さない！



市民の願いに  
こたえる政治を  
つくるには？

戦争はイヤ！  
安倍さんやめて



また年金減った…  
国保も高すぎる…



共産党は最近調子がいいいな。  
いっぺん話を聞いてみようか…

躍進づく日本共産党が、取手のみなさんにお話します